

# 前立腺全摘術を受けられるID: 様へ

バスコード:13014-02 世代:3

発行日:1900/01/00

経過 月日	入院(手術前日) (月 日)	手術当日(手術前) (月 日)	手術当日(手術後) (月 日)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4-5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目	退院後の診察 (月 日)
達成 目標	手術に必要な処置を受ける事ができる。 手術に必要な準備が理解でき、守ることができる。	不安なく落ち着いて手術を受けることができる。	安静を守ることが出来る。 術後の状態が安定している。	血尿がみられない。 バルンカテーテルが閉塞しない。	食事開始後吐き気や腹痛がおこらない。	傷口が赤くならない。 熱がでない。 問題無く離床できる。	傷口が赤くならない。 熱がでない。 離床がすすんでいる。	尿管が抜去できる。	骨盤底筋運動が実施できる。		退院おめでとう ございます 退院する事ができる。	療養生活 が継続できる。
治療・ 処置・ 検査・ 薬剤 (点滴)	持参薬の確認をします。 中止指示の薬を飲んでいないか確認します。  <b>寝る前に下剤を2錠飲みます。</b>  採血 検尿 心電図 レントゲン (外来で検査が終了していれば必要ありません。)	*手術日時 年 月 日 時 の予定です。  <b>指示された薬のみ少量の水で飲んで下さい。</b>  <b>朝に浣腸があります。</b>	血圧計・酸素マスク 心電図のモニターを装着します。  手術中ドレーンという 細い管がお腹から入ります。	かわりなければ 血圧計・心電図モニター・酸素マスクを外します。  薬の内服を再開します(抗血栓薬以外です)  内服の再開は 主治医の指示により変更する場合があります。  最初の歩行練習は、看護師と共にいきます。	食事を半分以上食べられるようなら夕食後、点滴が外れます。		問題が無ければドレーンが抜けます。				退院後注意する事や症状が何であるか理解できる。  自尿がみられる。  尿失禁への対処法が理解できている。	
安静度	特に制限はありません。		<b>ベッド上安静です。</b>  ・体の向きを変える際は、看護師を呼んで下さい。	医師の診察後、看護師が見守りし、ふらつきなく歩くことが出来るか確認します。	特に制限はありませんが、チューブ類が入っており、痛みもありますので、無理せず看護師を呼んでください。							
食事	特に制限はありません。 	飲水可能時間 手術時間で違います 08:45 - 12:59... 6時まで飲水可 13:00 - 16:00... 10時まで飲水可 16:00... 13時まで飲水可 手術時間は看護師から説明があります 当日朝から絶食です。	飲水食は禁止です。	食事は禁止です。 飲水が開始となります。	術後食が昼から開始となります。 (排ガスの確認をします)					術後3日目より状態をみて手術前の食事に戻ります。		
清潔	お風呂に入ります。 切毛をします。	手術当日は控えて下さい。		体拭きをします。				ドレーンが抜ければシャワーに入れます。			入浴する事ができます。	
排泄	尿量の測定・記録をして下さい。		手術中に尿管が入ります。  便は差し込み便器でとりますので排便時お知らせください。	尿管が入っています。  排便時は歩行が安定していれば室内のトイレで排泄できます。				検査をして問題が無ければ尿管が抜けます。 尿管が抜けた後は、尿量の記載を再開してください。				
患者様 及び ご家族 への 説明	主治医より入院・治療について説明があります。 麻酔科の医師による診察・麻酔に関する説明があります。 手術室看護師の訪問 があります。 看護師より手術までの流れに関する説明と必要物品の確認をします。 以下の物をご用意ください。 ・ビニール袋2枚(靴と寝衣を入れます) ・テープ式の紙おむつ1~2枚 ・吸い飲み、又は先の曲がるストロー、コップ お名前確認のためネームバンドを付けてさせていただきます。 骨盤底筋運動についての説明を行います。 リンパ浮腫予防についての説明を行います。 入院・退院について心配があれば相談して下さい。	必要物品はベッドの上にとめておいて下さい。 寝間が汚れていなければ、着替えはせず、排尿をすませてお待ち下さい。 コンタクトレンズ・腕時計・指輪・ヘアピン・かつら・入れ歯・アクセサリー等は外して下さい。 弾性ストッキングを履きます。 手術室で術衣に着替えてから入室します。  貴重品は必ず家族の方へお預け下さい。 *ご家族の方にはポケベルをお渡しします。 *ご家族の方は2階の「家族待合室」または病室でお待ちください。	徐々に麻酔から醒めてきます。 それと同時に痛みや管の違和感を感じる事があります。 その際は遠慮せずナースコールを押して下さい。 痛みを和らげるお薬を使います。	管をひっぱったりしないよう気をつけて下さい。	管をひっぱったりしないよう気をつけて下さい。  食事を食べた後で気分不良ないか、注意して下さい。		歩行が可能となりますが、主治医指示により安静度は変更される場合があります。  管が入っている間、移動する際に引張ったりしないよう注意して下さい。  尿管を抜いた後は、おしっこの感覚が分りにくくなり、尿漏れがおこりやすくなります。  尿取りパッドかリハビリパンツの用意をお願いします。  便秘気味でしたら、医師・看護師にご相談ください。	管を抜いた後の最初の尿は、看護師に見せるようにしてください。  残尿感があれば、おしっこが膀胱に残っていないか、簡単なエコーの検査をします。  退院について不安・質問などあれば遠慮なく、医師・看護師にお申し付け下さい。				退院後の療養生活上の留意点 出血を予防するため以下の事に注意して下さい ・熱いお風呂(40度以上)に長時間(2-30分以上)はいらない。 ・激しい運動は控える。 ・排便時怒責をかけない。 ・飲酒は控えて下さい。 上記のことは次回外来受診まで注意し、受診時主治医にご確認ください。  尿の色や出具合に注意して下さい ・尿に酷く血が混じった。 ・おしっこが出ない、出にくい等あれば外来受診して下さい

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。  
主治医: